



ながおかし議会だより

199号
2016.11.1
編集・発行/長岡市議会

ホームページで議会の録画映像を配信中 → <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/shigikai/index.html>



もみじ園(越路)



牛の角突き(山古志)



住雲園(和島)



蓮花寺の大杉(三島)

9月定例会で可決した意見書

市民生活に重要なことで、それが国や県の仕事である場合、市の力では解決できないことがあります。このようなときには、関係機関に「意見書」を提出して、積極的な解決を求めています。全文は市議会ホームページをご覧ください。

新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する意見書(要旨)

新潟水俣病は公式確認から50年が過ぎました。しかし、今なお潜在患者が相当数いることを踏まえ、県は昨年5月、全ての被害者が救済を受けることができる恒久的な救済制度の確立等を求める「ふるさとの環境づくり宣言2015」を発表しました。

また、県は水俣病被害者の救済及び水俣病特措法の救済判定をめぐる異議申し立てについて、国との見解の相違により、行政不服審査法に基づき審理を行っています。

よって、国会並びに政府におかれては、次の事項について早急に取り組まれるよう、強く要望します。

- 1 新潟水俣病の早期解決に向けて、被害者・国・加害企業など関係者が一堂に会する話し合いの場を設けること。
- 2 平成21年7月に成立した水俣病特措法の第37条に定めている「阿賀野川流域住民の健康被害実態調査」を速やかに実施すること。
- 3 潜在患者が名乗り出ることができるよう、環境整備すること。
- 4 昭和30年ころから昭和53年ころまで阿賀野川の魚介類を喫食した県外在住者らに、新潟水俣病に関する情報が伝わるよう格別の取り組みを行うこと。
- 5 水俣病特措法の異議申し立てを認めること。

(送付先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、環境大臣



平成27年度一般会計・特別会計の決算を賛成28人、反対4人の賛成多数で認定

平成27年度決算を認定

9月定例会最終日、平成27年度一般会計・特別会計決算については賛成多数で、下水道事業会計、水道事業会計は全会一致で認定されました。

詳しくは3ページをご覧ください。

9月定例会

一般会計補正予算を可決

9月定例会は9月6日から27日までの22日間の会期で行われました。平成28年度一般会計補正予算などを含む市長提出議案等18件、議員提出議案1件、委員会提出議案1件、請願1件を審議しました。このほか、定例会招集日に森前市長の退職の期日に関する議題が提案され、9月6日限りで退職することについて同意しました。議案等の審議結果については、5ページの会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。



提案理由の説明を行う高見副市長

- 補正予算の概要**
- シティプロモーション推進事業費 710万8千円
 - 企業立地促進補助金 2,230万円
 - 長岡市長選挙等執行経費 8,115万2千円

〈目次〉

- 補正予算の概要・意見書など……………1
- 一般会計……………2
- 平成27年度決算を認定……………3
- 特別委員会の中間報告……………4
- 常任委員会の所管に関する質問……………4
- 会派別議案等賛否一覧表……………5
- 新しい議員の紹介……………5
- 市議会の活動状況……………6

平成27年度決算を認定

決算審査特別委員会で審査しました

9月定例会において決算審査特別委員会を設置し、9月20日、21日、23日の3日間にわたり平成27年度の予算執行における収入・支出が適正に行われたかを審査しました。

審査の結果、一般会計・特別会計・下水道事業会計・水道事業会計の決算はいずれも認定となりました。

なお、決算審査特別委員会の委員は、以下のとおりです。

＜決算審査特別委員会委員＞ (◎委員長 ○副委員長)

◎高野 正義	○永井 亮一	五十嵐良一
池田 和幸	服部 耕一	大竹 雅春
広井 晃	関 充夫	中村 耕一
加藤 尚登	細井 良雄	藤井 達徳
松井 一男	桑原 望	長谷川 一作
酒井 正春	加藤 一康	

区分	歳入	歳出
一般会計	1,368億4,312万3千円 (対前年比0.5%減)	1,333億4,570万4千円 (対前年比0.4%減)
特別会計・下水道事業会計・水道事業会計	838億2,970万3千円 (対前年比3.1%増)	863億7,637万5千円 (対前年比1.8%増)

＜平成27年度一般会計決算の概要＞

一般会計の歳入総額から歳出総額と翌年度に繰り越す財源を差し引いた実質収支は、30億7,536万9千円の黒字となりました。

歳入

基幹収入である市税及び地方交付税は見込みを上回り、一般財源を確保することができました。

歳出

歳出については、地方創生元年として「長岡リジュベネーション～長岡若返り戦略～」を策定し、雇用創出、産業振興、子育て支援など、定住人口と交流人口の拡大に全力で取り組みました。

また、健康・医療・福祉の推進と連携、学校施設の耐震化などの防災・災害対策、地域経済の下支えにより、暮らしの安全と安心の確保を図りました。

さらに、地域の宝の磨き上げ等により、各地域が輝くまちづくりを推進したほか、戦後70年の節目に、長岡空襲70年事業・長岡ホノルル平和交流記念事業を実施するなど未来に向かってたくましく前進するための施策を着実に進めました。



平成27年度一般会計決算に対する決算審査特別委員会での採決

一般会計決算に対する各会派の意見・評価

賛成

市民クラブ

平成27年度決算は、形式収支が34億円超、実質収支も30億円余りの黒字となり、財政力指数、実質公債費比率とも健全化の数値を示している。

歳出では、当初予算において掲げた「地方創生元年・未来へ向かってたくましく前進する予算」を目標に若者の未来が明るいものとなるよう、人口減少を止め地域活力の向上を図る政策に取り組み、現在・未来にわたり市民生活に密接かつ必要な政策が調和よく執行されたものと評価する。今後も適正な財政運営と健全財政に努められるよう希望し、平成27年度決算の認定に賛成する。

賛成

しん長岡クラブ

歳入では、市税・交付税の大幅な確保をはじめ、国・県支出金の有効活用を図るなど予算額を上回り、歳出についても効率化と適正な予算執行に努められ、形式収支・実質収支ともに黒字計上となっている。

地方創生元年として「長岡リジュベネーション～長岡若返り戦略～」を策定し、子育て支援・産業振興・雇用創出などの行政運営は評価する。しかし、個別の予算執行で外部コンサルタントへの委託案件が、件数・額ともに多い状況が見受けられる。PDCAを十分に行うよう要望し、引き続き健全な財政運営の取り組みに期待する。

反対

共産党市議団

住宅リフォーム支援事業の継続や学校の手洗い場への給湯器設置などについては評価する。

しかし、地方交付税の減額など、歳入減少が見込まれる情勢の下、中心市街地再開発など大型開発を見直し、国民健康保険料や介護保険料の引き下げや子ども医療費助成制度のさらなる拡充、原発に依存しない新エネルギーへの転換促進、地元業者・農業への支援策の拡充など、市民の暮らしや福祉、教育優先への転換が必要である。

以上の点から、平成27年度決算の認定に反対する。

賛成

民成クラブ

平成27年度決算は依然として消費税増税の影響を受け、景気低迷が続く歳入が減少となっている。その中で、一般会計決算での商工業振興費の中小企業制度融資では、この執行残が75%にのぼり、制度の効果そのものの実効性が問われることから、見直しが必要と考える。

一方、市民のニーズに応えるべく多様な政策に取り組んでおり、子育て支援の強化、認知症対策や障害者支援政策など幅広い福祉政策については高く評価する。各種財政指数の健全化、特に将来負担比率の低下など健全な財政運営であり、本決算の認定に賛成する。

賛成

長岡市公明党

平成27年度は、地方創生元年として「長岡リジュベネーション～長岡若返り戦略～」を策定し、未来を見据えた意欲的な予算立てとなっている。

今回の決算では、その各事業ともおおむね適正に予算執行され、期待された成果も少しずつ形になってきたものと考えられる。また、歳入から歳出を差し引いた形式収支が約35億円の黒字、実質収支額も約30億円の黒字となり、財政健全化の判断の指標である実質公債費比率、将来負担比率の改善も見られたことから、健全な財政運営であったと認められる。



特別委員会の活動を報告します (9月定例会において各委員長から報告された中間報告の要約です。)

克雪・危機管理・防災対策特別委員会

災害に強いまちづくりに向けた取り組みとして、次の2点について重点的に議論を行いました。

1 道路除雪について

小型ロータリ除雪車を活用した狭い道路の除雪の拡充、保育園隣接道路の路肩拡幅除雪の実施、大手通り等の路肩部の雪処理など、昨年度の道路除雪計画において、新たな除雪強化策が示されました。

また平成28年1月に発生した集中豪雪を受け、各道路管理者等で構成する長岡圏域冬期道路交通確保連携会議において「平成28年1月集中豪雪の検証・対策検討会」を立ち上げ課題検証を行い、以下の4つの視点からなる対応策がまとめられました。

- ①車両流入が避けられない市街地での除雪体制・除雪方法
- ②住民、ドライバー、企業へ除雪状況等の情報提供と不要不急の外出を控える呼びかけ
- ③並行する高速道路の早期交通開放
- ④長時間渋滞が発生した際のドライバー支援

現在、この対応策を実行するため、関係機関が連携して仕組みづくりを進めています。

2 原子力安全対策について

市町村による原子力安全対策に関する研究会での取り組みや、長岡市が昨年12月に策定した「長岡市原子力災害に備えた避難計画」の市民への周知、放射線観測システムの機能拡充などについて、説明を受けました。

今後も関係機関と連携し、原子力安全対策に万全を期すよう求めます。

市民の安全・安心を確保するため、当委員会は引き続き執行部とともに災害に強いまちづくりに向けて取り組んでいきます。



保育園隣接道路の路肩拡幅除雪
(提供:長岡市)

大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会

本市において重要な事業である大河津分水路及び長岡東西道路の整備について、次のとおり報告します。

1 大河津分水路について

信濃川の洪水から越後平野を守るため、大正11年に通水した延長約9キロの放水路ですが、河口部の流下能力の不足や施設の老朽化、機能低下により抜本的な改修が必要となったため、国へ要望活動を行ってきた結果、昨年4月に新規事業化が決まりました。

昨年度は用地測量、物件調査等が行われ、今年5月には野積橋の架け替え工事について、国と道路管理者である県との協議が整い、基本協定が締結されました。現在、野積橋の架け替えに向けた詳細設計等が行われており、今後、河口部の土砂掘削・運搬に伴う準備工事等に着手する予定です。

2 長岡東西道路について

平成11年から事業着手し、25年11月には長年の念願であったフェニックス大橋が左岸バイパスと同時に開通したことにより、信濃川にかかる橋りょうの交通渋滞の緩和が図られています。その整備効果をさらに発揮するため、一日も早い国道17号へのアクセスが必要となります。

現在、来年春の完成に向けてフェニックス大橋東詰の宮内大橋及び付け替え市道の整備が行われているほか、国道17号から500メートルの区間については、土地区画整理事業により暫定2車線で今年11月の新しい立川総合病院の開院に合わせて供用できるよう整備が進められています。また、宮内町交差点から区画整理区域に接続する区間については、県が事業主体となり、暫定2車線で32年度の供用予定で整備が行われています。

当委員会では、これら重要事業の早期完成に向け、今後さらに関係機関とともに努力していきます。



フェニックス大橋東詰の宮内大橋

9月定例会 常任委員会の所管に関する質問

各常任委員会では、議案審査のほかそれぞれ担当する事業等について質問する「所管事項に関する質問」を行っています。ここでは、質問の一部を掲載しています。詳しくは会議録(11月下旬発行予定)、インターネット録画中継をご覧ください。

総務委員会

- 火焰土器や縄文文化の認知度向上に向けた取り組み
- 市税のクレジットカード納付の導入の方向性
- ツキノワグマの出没状況と人身被害防止のための対策
- 7月の参議院議員選挙における開票作業遅延の再発防止策
- 洪水に対する避難情報や避難行動の周知に向けた取り組み

など

文教福祉委員会

- 潜在的待機児童の解消に向けた本市の対策とその保護者の就労状況
- 婚姻歴の有無によるひとり親世帯の保育料の格差是正
- 不妊治療に関する国・県の制度拡充に伴う本市への相談状況
- 福祉用具の貸与、購入費補助、住宅改修費補助の各サービスの内容、利用状況等と各サービスの役割、評価
- 学校給食費の未納状況と本市の対応

など

産業市民委員会

- DV(ドメスティックバイオレンス)の相談の現状と若年層に向けた意識啓発
- 市内企業の障害者雇用支援実績と今後の取り組み
- 今年の長岡まつり大花火大会の総括と重点的な安全対策
- 防犯灯のLED電球への取替え経費に対する補助の検討と本市の考え
- 長岡まつり大花火大会のチケットを安心して購入できる取り組み

など

建設委員会

- フリーゲージトレインによる上越新幹線と北陸新幹線の接続の実現に対する本市の考え
- 新規公園や既存の公園への健康遊具の設置に対する本市の見解
- 自転車通行帯の路面表示の適正な維持管理及び安全な自転車利用環境の整備の必要性
- 立地適正化計画における居住誘導区域の考え方
- 大河津分水路改修についての住民への広報と説明会の必要性

など

人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員に次の方を推薦することに同意しました。

- 島倉 昭宏 氏 (新任)
- 櫻井 陽一 氏 (再任)
- 中曽根 勝彦 氏 (再任)
- 小林 修子 氏 (再任)

会派別議員名簿 (9月27日現在)

市民クラブ	松井 一男 加藤 尚登 田中 茂樹 深見 太朗 広井 晃 丸山 勝総 酒井 正春 五井 文雄	丸山 広司 高見 美加 池田 和幸 大竹 雅春 古川原直人 長谷川一作 高野 正義
しん長岡クラブ	杵淵 俊久 関 充夫 水科 三郎	山田 省吾 永井 亮一
共産党市議団	笠井 則雄 服部 耕一	諸橋 虎雄 細井 良雄
民成クラブ	加藤 一康 小坂井和夫	五十嵐良一
長岡市公明党	中村 耕一 藤井 達徳	池田 明弘
無所属	A 桑原 望	
	B 関 貴志	
	C 関 正史 (議長)	

新しい議員の紹介

市議会議員補欠選挙で
荒木法子氏が当選



あらきのりこ
荒木 法子
千手1・1期
無所属

8月31日をもって、
小熊正志氏が議員辞職
したことに伴い、市議
会議員補欠選挙が実施
され、荒木法子氏が無
投票で当選されました。
荒木氏の所属は次の
とおりです。

常任委員会…産業市民委員会
特別委員会…克雪・危機管理・防災対策特別
委員会

会派別議案等賛否一覧表

9月定例会

○：会派全員が賛成 ×：会派全員が反対

議案等	会派名 ()は所属議員数							議決結果									
	市民クラブ (15)	しん長岡クラブ (5)	共産党市議団 (4)	民成クラブ (3)	長岡市公明党 (3)	無所属A	無所属B										
市長提出議案等	補正予算		平成28年度一般会計 ほか1件					○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	補正予算		平成28年度国民健康保険事業特別会計					○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	補正予算		平成28年度国民健康保険寺泊診療所事業特別会計					○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
条例	制定	景観条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
		一部改正	市税条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
条例	一部改正		行政財産の目的外使用条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		市道路線の認定、変更及び廃止		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案等	その他	契約の締結 (市立劇場大規模改修建築工事) ほか4件		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
		新潟県市町村総合事務組合規約の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		決算	決算の認定 (平成27年度一般会計・特別会計)		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
決算の認定 (平成27年度下水道事業会計)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
議案等	人事	人権擁護委員の推薦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
		前市長に対する感謝決議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案	意見書	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
請願	願	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する請願		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
議員派遣	遣	4常任委員会行政視察について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	決定	
その他	他	市長の退職の期日に関する同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	

12月定例会を傍聴しませんか？

12月定例会の日程は、11月上旬に決定します。ぜひ傍聴にお越しください。

本会議

- ・開会 午後1時
- ・受付 午後0時30分からアオーレ長岡西棟2階 (傍聴受付) にて
- ・定員 65人、車いす席2人、親子傍聴席10人

常任委員会

- ・開会 午前10時
- ・受付 午前9時30分からアオーレ長岡西棟4階 (議会事務局) にて
- ・定員 12人

議員の年賀状は禁止されています

市議会議員は、答礼のための自筆によるものを除き、選挙区内の人に対して年賀状を出すことやお歳暮などを贈ることが公職選挙法で禁止されています。ご理解をお願いいたします。

市議会の活動状況

9月27日 森民夫 前市長への感謝決議を可決

森民夫前市長は、8月29日に関正史議長に対し退職の申し出をされ、9月6日付けで市長職を退かれました。市議会では、市長在任中の功績を高く評価し、議員発議による感謝決議が9月定例会最終日に提出され、この決議は全会一致で可決されました。

感謝決議

森民夫氏は、平成11年11月22日、市民の衆望を担って長岡市長に就任されました。以来16年9カ月余の長きにわたり、すぐれた識見と卓越した手腕のもと、中越地震からの復興や市町村合併、市民との協働によるまちづくり等、長岡市の発展と市民生活の向上に大きく貢献されました。

また、平成21年6月から4期にわたり全国市長会の会長として、積極的に地方分権改革に取り組まれた功績はまことに顕著であり、高く評価されるところであります。

本市議会は、平成28年9月6日に職を退かれた同氏に対し、その偉大な功績をたたえ、深く感謝の意を表します。

以上、決議する。

平成28年9月27日

長岡市議会



拍手で見送られる森前市長

10月2～6日 大英博物館を訪問

市が所蔵する縄文土器が大英博物館に常設展示されることを受け、その公式記念行事出席のため、10月2日から6日に関正史議長がロンドンを訪問しました。

関議長と高橋譲教育長が、10月3日、大英博物館サロン・ルームにてジョナサン・ウィリアムズ副館長と会談し、火焰土器のレプリカや長岡ならではの火焰土器がデザインされたマンホールのふたを記念品として贈呈しました。



記念品贈呈の様子(右から6人目が関正史議長)

大英博物館は、世界から年間約600万人が訪れる世界最大級の博物館で、火焰型土器など4点が14日から3年間常設展示され、世界へ長岡の魅力が発信されます。

10月8日 米百俵まつりに参加



牧野忠毅公に扮した関正史議長

長岡が誇る米百俵の精神や歴史と伝統を学ぶ「米百俵まつり」が今年も盛大に開催されました。時を越えた1日限りの長岡藩として、今年も総勢約500名による越後長岡時代行列が行われました。

牧野忠毅公に扮した関正史議長、先駆隊や牧野家参勤交代などの役柄に扮した議員らが参加したほか、姉妹都市であるトリアー市からも約40名が堀直奇隊として参加し、まつりを盛り上げました。

10月9日 ドイツ・トリアー市 姉妹都市締結10周年記念パーティーに出席

姉妹都市締結10周年を記念し、長岡グランドホテルで記念パーティーが開催されました。高見市長職務代理人、トリアー市ライブ市長、独日協会アウバート会長などのあいさつに続き、関正史議長が乾杯条例にならって日本酒で乾杯しました。

記念品の交換やトリアー市のオペラ歌手キースリング氏の歌の披露、青少年グループの学校紹介や交流事業に参加した長岡の生徒の体験談の発表などが行われ、終始和やかな雰囲気で行われました。



交流10周年記念パーティーの様子

9月	
2日	議会運営委員会 人口減少対策特別委員協議会
6日	議会運営委員会 本会議(招集日)
7日	本会議 総務委員会
8日	本会議 まちづくり・新エネルギー対策特別委員協議会
12日	建設委員会
13日	9月 産業市民委員会 産業市民委員協議会
14日	定例会 文教福祉委員会 文教福祉委員協議会
15日	(22日間) 総務委員会 総務委員協議会
20日	決算審査特別委員会
21日	決算審査特別委員会
23日	決算審査特別委員会
27日	議会運営委員会 総務委員会 産業市民委員会 本会議(最終日)
10月	
24日～26日	産業市民委員会行政視察
25日～27日	建設委員会行政視察

※常任委員会行政視察報告については、次号(2月1日発行200号)に掲載します。

